

猿沢地区振興会だより

発行元
〒029-0431
大東町猿沢字板倉 57-1
(猿沢市民センター内)
猿沢地区振興会
TEL 76-2220 Fax 71-4001

第4回理事会開催 「まちづくり」計画 前向きに!

2月23日(木) 第4回理事会が開催され、新年に開催した交賀会の収支決算と、まちづくり実施計画案5項目(左記)が審議されました。

実施計画案

- ① 「地元野菜を利用したお弁当・食堂」
- ② 「猿沢羊羹」の復活
- ③ 「子どもの居場所」作り
- ④ 「平成の猿沢八景」選定と看板作り
- ⑤ 「猿沢小唄」の継承

理事会では、計画案の実施に前向きな意見が多く、今後具体的に取り組んでいくことになりました。

この中で項目①について、「地場産の食材を使った弁当提供や農産物加工の販売、福祉と一体化した事業は、隣接地域ですで行っている。競合するのではなく、共存していく事業内容の検討が必要ではないか」という意見や、「高齢者でもやれる野菜作りでお金に換金していく方法を検討して欲しい」といった要望が出されました。

理事会で話し合われた内容については、まちづくり委員会の検討事項となります。

すべてが初めての試みです。前進も後退もあると思いますが、まずは「やってみよう」から始めていきますように。

事業 1

猿沢小唄

サルカサルサカ ナンセカンセ
ドッコイサノ セッセッセ〜♪

先日行われた猿沢地区芸能発表会で、ちんどん蓬萊一座の皆さんが「猿沢小唄」を披露しました。以前、理事会でも、『地区の催しでは「大東音頭」が主流になっており、せっかくある「猿沢小唄」の影が薄くなってきている』というお話がありました。

今あるものを大事にし、今後、受け継いでいくためにも何か手だてを考えていきたいですね!

ということで…



猿沢芸術文化協会さんのご協力により、平成版：「猿沢小唄」の収録が決定!!

☆具体的な内容としては

- ①音源をリニューアルしCDに収録
- ②踊りをDVDに収録
- ③CD、DVDを活用し普及活動を推進
- ④各種イベント等で唄、踊りを披露

「猿沢小唄」はどのようにしてできたのか…

佐山亮一氏(歴代20代目猿沢村長 S22~S26)の関係資料からひも解いてみました。

.....

昭和3年頃、一青年運動家で、佐山氏と親交が深かった荒沢基氏が来村し、旧猿沢小学校の裁縫室に青年団町方支会の若い連中を集めて座談会を開いた。その際に、荒沢氏から歌謡と踊りの指導を受け、輪になって歌い踊ったのが始まり。この歌と踊りは、歌詞に地方色がないため、猿沢の地域環境に合う歌詞を作れば一層楽しく歌えるということで、佐山氏が即興で歌詞を作成し提供した。

佐山氏は、農村娯楽で行われている盆踊りに、伝統として歌い踊り継いで欲しいと願い、この歌を「猿沢小唄」と名付け広めていったと思われます。

事業 2

猿沢羊羹 復活へ

猿沢名物：千葉羊羹屋の「明治煉羊羹」 (通称:猿沢羊羹)

猿沢の名物であった千葉羊羹屋（猿沢字町方）の明治煉羊羹（通称：猿沢羊羹）が、高齢化、後継者の問題などにより、惜しまれながらも約4年前に閉店に至りました。

猿沢地区民の住民アンケートでも、復活や継承を望む声が多くあり、振興会の取り組むべき事業の一つとして理事会で承認され、その第1回目の試作研究会が3月6日（月）改善センターで行われました。

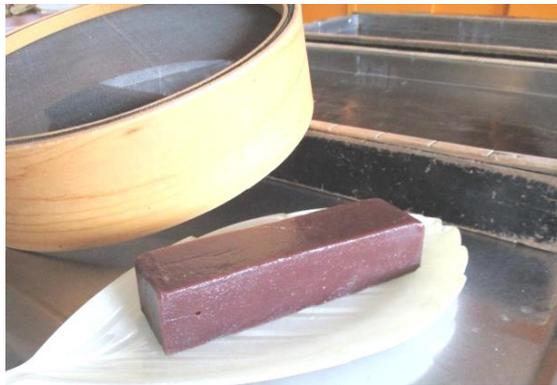


今回の試作研究会には、毎年、猿沢地区文化祭で地場産食材を使ったお弁当を販売している地元主婦らと、まちづくり委員会で実施計画立案に携わっている委員3名が参加し、千葉羊羹屋の磯雄さん、ケイさんから譲り受けた道具を使い、二人の助言を基に作業を行いました。

まずは、職人技であった①分量の目分量の部分を明確にする
②材料の割合を確立するところからの始まりで、参加者は日頃の主婦業で培った経験と工夫を活かしながら、加減の違う2種類の羊羹を作り上げました。

出来上がりを試食した参加者は、当時の味を思い出しながら改善点を話し合い、次回の試作研究会に向け、意気込みを新たにしました。

長年、猿沢名物「猿沢羊羹」として地元の皆さんに愛されてきた羊羹。千葉夫妻が築き上げてきた伝統を大切にしながら、地区民の皆さんが懐かしんでくれるような、そんな羊羹を作り上げたいと思っています。



譲り受けた羊羹を流す容器（写真右奥）と濾し器（左）
1回目の試作品（中央）

卒業

3月17日（金）、猿沢小学校6年生12名が卒業証書授与式を迎え、6年間過ごした学び舎に別れを告げ、巣立っていきます。

卒業式…、なぜ猿沢では卒業生が、まだ入学していない中学校の制服で出席するのか。

それは「猿沢中学校がなくなり、制服を着、立派に成長した姿を、お世話になった猿沢地区の皆さんや、先生方に見せる機会がないから」という父兄と児童の思いから始まったそうです。

猿沢は、「感謝」の気持ちを大切にしている地区です。他地区には無い「合同歓送迎会」（小学校PTA主催もその一つ。子どもの頃から温かく見守られてきた環境が、感謝の気持ちを育てているんだな、とつくづく感じさせられます。

【お詫びと訂正】

先月号の振興会だよりの発行番号が「第21号」となっておりましたが、「第22号」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

人口と世帯数

平成29年3月1日現在
(前月比)

一関全体	人口	12万0,746人	-114
	男	5万8,462人	-77
女	6万2,284人	-37	
世帯数	4万6,241世帯	-8	
大東地域	人口	1万4,085人	-22
	男	6,859人	-14
	女	7,226人	-8
	世帯数	5,088世帯	-8
猿沢地区	人口	1,770人	-7
	男	871人	-5
	女	899人	-2
	世帯数	594世帯	1